資料１

奈良市子ども・子育て会議委員名簿

（敬称略、カナ順）

	氏　名	所属　・　役職名等	備　考
1	大方（オオガタ）　美香（ミカ）	大阪総合保育大学児童保育学部　教授	会長
2	岡本（オカモト）　聡子（サトコ）	ＮＰＯ法人ふらっとスペース金剛　代表理事	
3	亀本（カメモト）　和也（カズヤ）	奈良市保育園保護者会連絡協議会　副会長	
4	北岡（キタオカ）　光代（ミツヨ）	公募委員	
5	栗本（クリモト）　恭子（キョウコ）	公募委員	
6	竹村（タケムラ）　健（タケシ）	奈良市自治連合会　会長	
7	西山（ニシヤマ）　明彦（ミョウゲン）	奈良市私立幼稚園協会　会長	
8	畑中（ハタナカ）　康宣（ヤスノブ）	奈良市ＰＴＡ連合会　会長	
9	浜田（ハマダ）　進士（シンジ）	ＮＰＯ法人子どもの権利条約総合研究所関西事務所　所長	副会長
10	藤本（フジモト）　宣史（タカシ）	奈良市保育会　会長	
11	掘越（ホリコシ）　紀香（ノリカ）	奈良教育大学教育学部　准教授	
12	前田（マエダ）　伸介（シンスケ）	奈良県私立幼稚園ＰＴＡ連合会第２ブロック　地区役員	
13	横尾（ヨコオ）　典男（ノリオ）	株式会社平井眞美館　総務課長	

平成２５年８月３０日　現在

写

奈 子 政　第１１８号

平成２５年８月３０日

奈良市子ども・子育て会議

会長　大方　美香　様

奈良市長　仲川　げん

奈良市子ども・子育て支援事業計画について（諮問）

下記の事項について、奈良市子ども・子育て会議条例第２条の規定により諮問します。

記

奈良市子ども・子育て支援事業計画について

以上

諮問の趣旨

近年、急激な少子化の進行や、家族、地域、雇用など子ども・子育てを取り巻く環境の変化により、子育ての孤立感と負担感が増大しています。

そこで、次代を担う子どもたちを安心して育てることができるよう、親が子育てに喜びや楽しみを感じ、また、子どもや親が地域の愛情を感じてのびやかに育つまちを目指し、子育て家庭のみならず、市民の皆さんが安心してこれからも奈良の街に住み続けたいと感じる環境づくりに努めているところです。

しかしながら、依然として、保育所に入れない待機児童の問題、家庭や地域の子育て力の低下、児童虐待など子どもをめぐる様々な課題が存在しており、これらの課題に対して早急に取り組む必要があります。

そこで、国においては、様々な課題に対応するため、幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大、地域の子ども・子育て支援の充実を目指し、子ども・子育て関連３法が平成２４年８月１０日に成立しました。この関連３法に基づく新たな制度では、子ども・子育てを社会全体で支えるべく、認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付である「施設型給付」及び小規模保育等への給付である「地域型保育給付」が創設されました。また、認定こども園制度を改善することにより、認定こども園の普及を進め、さらに、地域の実情に応じた子育て支援を充実させることにより、幼児期の学校教育・保育と地域の子育て支援を総合的に推進することが目指されています。

本市におきましては、この新たな制度の実施主体として、地域のニーズに基づいた事業計画を策定し、その事業計画に基づいて給付・事業を実施することにより、子ども・子育てをめぐる様々な課題に対して早急に取り組んで参ります。

こうしたことから、前述した事項について、子育て当事者や事業従事者等幅広い分野の方々で構成されている奈良市子ども・子育て会議にてご審議いただきたく、諮問するものです。

資料３

奈良市子ども・子育て会議について

子ども・子育て会議の趣旨と目的について

子ども・子育て支援法第７７条において、市町村は、条例で定めるところにより、「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定等の事務を処理するため、審議会その他の合議制の機関を設置することが求められています。

本市においては、平成２５年３月に「奈良市子ども・子育て会議条例」を制定し、本市の附属機関として「奈良市子ども・子育て会議」を設置しました。本会議は、子育て当事者や子育て支援当事者等の参画を得て、子育てに関するニーズを事業計画等に反映することをはじめ、新制度に基づく子ども・子育て支援施策を地域の子どもや子育て家庭の実情を踏まえて運営することを目的としています。

また、新制度に基づく子ども・子育て支援施策の実施状況について、継続的に点検・評価・見直し（事業計画のＰＤＣＡサイクル）を行うことも、会議を運営していく上で重要な目的となっています。

平成２５年８月３０日
奈良市　子ども未来部

Ⅰ．奈良市子ども・子育て会議の概要

１．委員について

子ども・子育て支援に関する学識経験者、保育・教育関係者、子ども・子育て支援事業従事者、子育て当事者等幅広い分野から委員にご就任をいただいています。なお、設置の趣旨を踏まえ、子育て当事者には市民公募の委員にもご就任をいただきました。

また、事業計画の策定にあたり、集中的にご審議いただくため、第１回会議において「事業計画策定部会」設置のご承認をいただきました。専門部会の委員は、本会議委員の学識経験者を中心として、本市及び本市教育委員会事務局の職員等により構成されています。

２．奈良市子ども・子育て会議の審議事項について

本会議の審議事項は、「子ども・子育て支援法第７７条第１項」で、次のとおり定められています。

（１）特定教育・保育施設（認定こども園、幼稚園、保育所）の利用定員の設定に関すること。

（２）特定地域型保育事業（小規模保育事業）の利用定員の設定に関すること。

（３）市町村子ども・子育て支援事業計画の策定・変更に関すること。

（４）子ども・子育て支援に関する施策の推進について必要な事項及び施策の実施状況の調査審議に関すること。

なお、平成２６年度までに、現時点でご審議いただくことを予定している主な事項は次のとおりです。

① 事業計画の策定（ニーズ調査を含む）

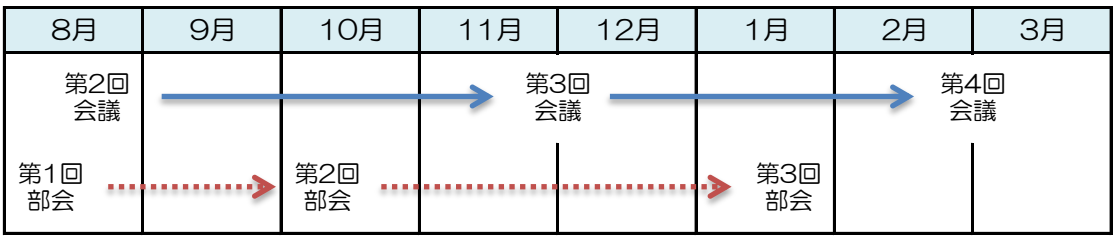
② 給付対象施設（認定こども園、幼稚園、保育所）の利用定員

③ その他、新制度の施行準備にあたり本市が決定すべき重要事項

３．審議の方法について

会議及び部会でご審議いただく事項については、事務局から素案又はたたき台を提示して、会議での議論の結果を反映させていく予定です（国の審議状況によっては、会長と相談の上で事務局にて決定させていただく事項が発生する可能性あり）。なお、事業計画については、会議及び部会からの意見聴取に加えて来年度にパブリックコメント手続を実施します。

４．会議スケジュールの予定について（平成25年度）



Ⅱ．子ども・子育て関連３法の概要

１．法律の概要について

子ども・子育て関連３法は、幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子ども・子育て支援の充実を目的として、平成２４年８月に成立しました。

【各法律の趣旨】

（１）子ども・子育て支援法

認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付（施設型給付）及び小規模保育事業等への給付（地域型保育給付）の創設、地域の子ども・子育て支援の充実。

※幼稚園と保育所で別々になっている利用手続や費用負担の仕組み等を一本化。

（２）認定こども園法の一部改正法

幼保連携型認定こども園について、幼稚園と保育所で別々になっている認可・指導監督を一本化学校及び児童福祉施設としての法的位置付け。

（３）関係法律の整備法

上記２つの法律の施行に伴い、児童福祉法等の関係法律を改正。

なお、子ども・子育て関連３法に基づく、「子ども・子育て支援新制度」は、消費税率の引き上げを前提として、平成２７年４月からの本格施行が予定されています。

２．現行制度からの主な変更点について

（１）幼児期の学校教育・保育の提供について「給付」を創設

幼児期の学校教育・保育の提供について、「子ども・子育て」を社会保障の一部として社会全体で支えるという観点から、認定こども園・幼稚園・保育所、小規模保育等を通じた給付制度が創設され、いずれの施設を利用した場合でも、共通の仕組みで公費対象となる。

（２）放課後児童クラブについても、地域子ども・子育て支援事業として法定化

児童福祉法の改正により、対象児童がおおむね１０歳未満の児童から小学校に就学している児童へと拡大されるほか、設備及び運営基準について、厚生労働省令で定める基準を踏まえて市町村が条例で基準を定めることとなる。

（３）市町村が制度の実施主体

現行では「私立幼稚園の所管は県」「認可保育所の所管は市」のように、制度ごとに所管がバラバラであるが、新制度においては市町村は地域のニーズに基づいて、事業計画の策定や給付・事業の実施を主体的に行うこととなる。

（４）消費税率引き上げに伴う財源確保

（１）でも述べたとおり、「子ども・子育て」についても社会保障の一つに位置付けられたことから、新制度の財源は社会全体による費用負担として、消費税率の引き上げによる増収分の確保が前提となっている。

３．施行に向けた本市の取り組みについて

（１）予算からみた本市の取り組み状況

本市では、新制度への移行に向けた準備のスタートとして、平成２５年度は「奈良市子ども・子育て会議」の設置、事業計画策定のためのニーズ調査等に取り組むとともに、新制度における給付及び事業に対応した電算システムの導入にも随時対応していく予定です。

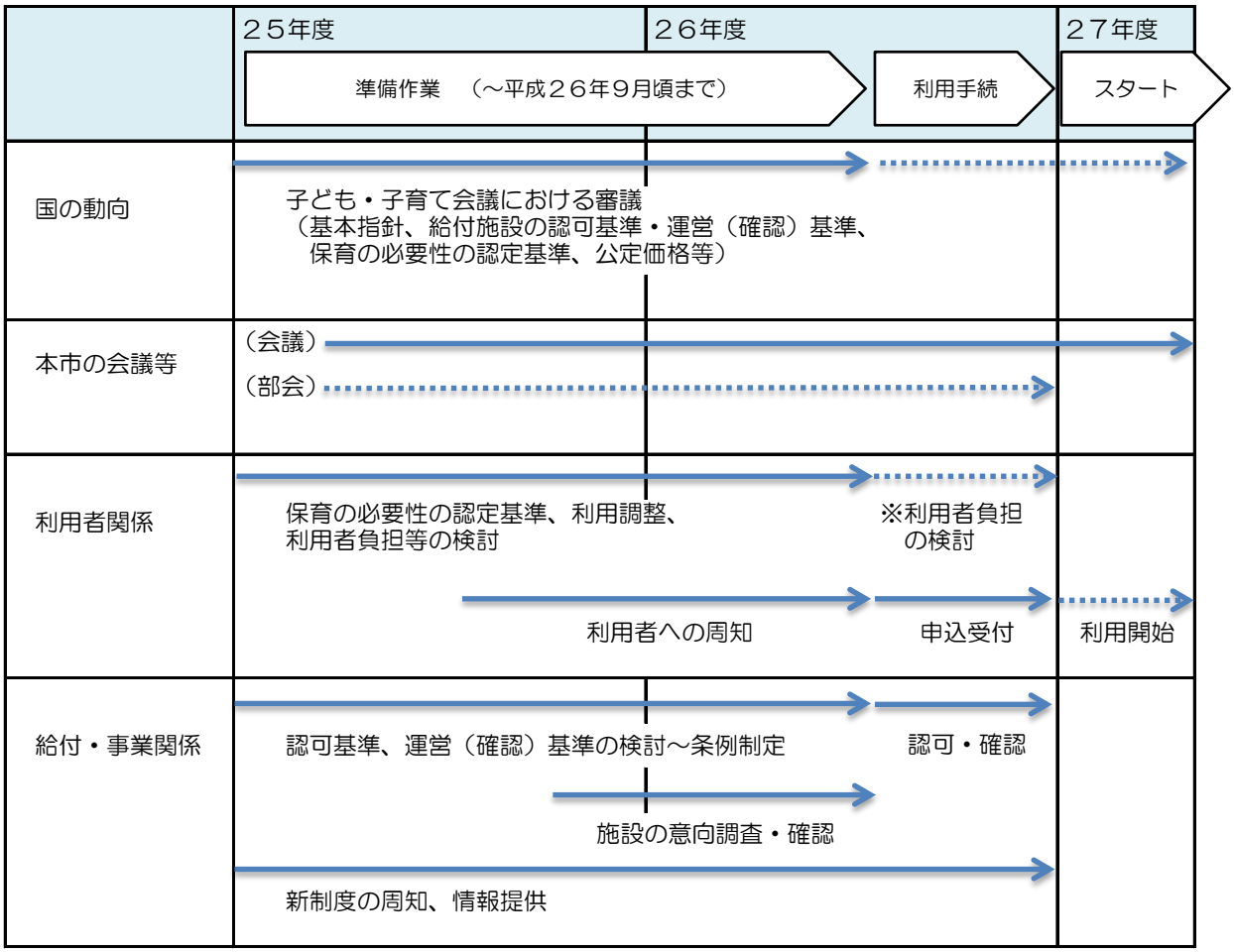
①奈良市子ども・子育て会議の設置・運営　　（予算額：　８３０千円）

②事業計画策定に係るニーズ調査　　（予算額：３，５００千円）

（２）推進体制からみた本市の取り組み状況

平成２７年度の新制度本格施行に合わせて、本市の行政組織の整備を進めており、平成２５年度については、まずは幼稚園に係る事務のうち、窓口関連を教育委員会から子ども未来部に移管することにより、施設利用の窓口を一本化した。さらに、幼稚園職員の研修と指導等に係る事務についても移管することにより、市立幼稚園と市立保育所を合わせた形での保育内容を充実させる取り組みを行うこととしている。

４．今後の主なスケジュールのイメージについて



資料４

子ども・子育て支援新制度と奈良市の取組状況について

第2回　奈良市子ども・子育て会議
平成25年8月30日（金）
奈良市子ども未来部

＜内容＞

＜Ⅰ　子ども・子育て支援新制度について＞

1．子ども・子育て支援新制度の３つの目的
2．子ども・子育て支援新制度の全体像
3．保育の量的拡大・確保の概要

＜Ⅱ　奈良市の取組状況について＞

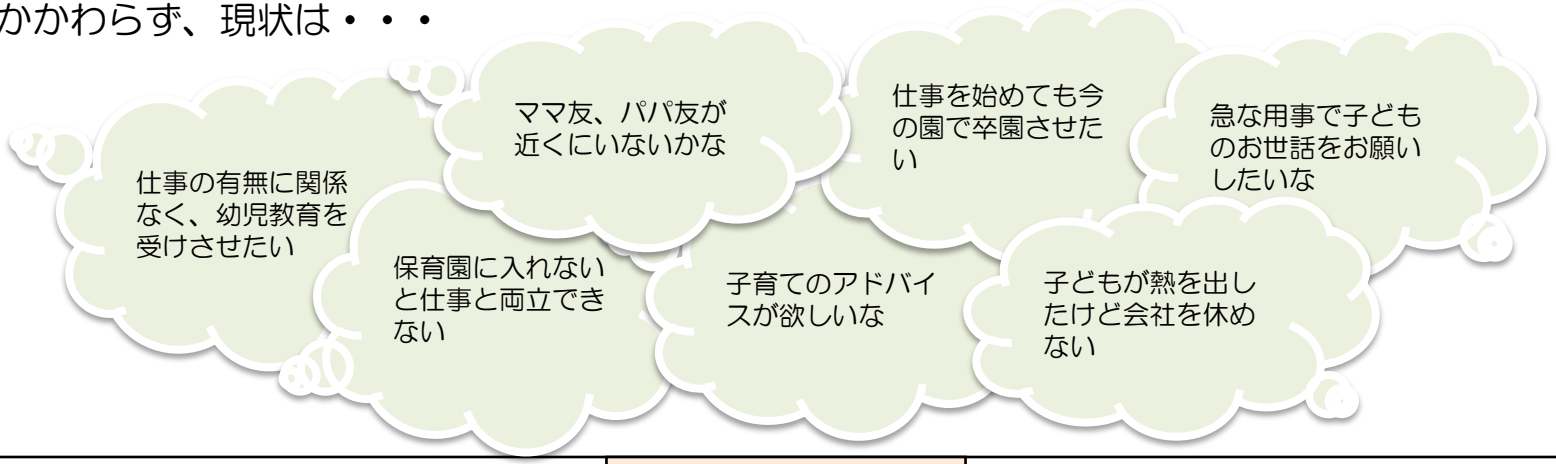
1．奈良市の教育・保育の受け皿
2．奈良市の保育需要の推移
3．国の待機児童解消加速化プラン
4．奈良市の待機児童解消に向けた取組

Ⅰ　子ども・子育て支援新制度について

１．子ども・子育て支援新制度の３つの目的

結婚・出産・子育ての希望がかなわない現状

●少子化が進行している中、独身男女の約９割が結婚意思を持っており、希望の子ども数も２人以上であるにもかかわらず、現状は・・・



課題の解決のため、「子ども・子育て支援新制度」が創設

子ども・子育て支援新制度の３つの目的

・平成24年8月に新制度の基礎となる「子ども・子育て関連3法」が成立

・子ども・子育て支援新制度の大きな目的は以下の３つ

①質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供（第１回会議で説明）

②保育の量的拡大・確保（本日の説明事項）

③地域の子ども・子育て支援の充実（第３回会議で説明予定）

2．子ども・子育て支援新制度の全体像

●新制度による子ども・子育て支援は、「給付」と「事業」で構成される。

子ども・子育て支援給付

施設型給付

〇認定こども園
〇幼稚園
〇保育所

地域型保育給付

〇小規模保育
〇家庭的保育
〇居宅訪問型保育
〇事業所内保育

児童手当

地域子ども・子育て支援事業

【子ども・子育て支援法で定める１３事業】

①利用者支援事業
②地域子育て支援拠点事業
③妊婦健診
④乳児家庭全戸訪問事業
⑤養育支援訪問事業
（要支援児童・要保護児童等の支援に資する事業）
⑥子育て短期支援事業
⑦ファミリー・サポート・センター事業
⑧一時預かり事業
⑨延長保育事業
⑩病児・病後児保育事業
⑪放課後児童クラブ
⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業
⑬多様な主体の参入促進事業

３．保育の量的拡大・確保の概要　―①「給付」の創設―

「給付」～共通の財政支援のための仕組み～

施設型給付

認定こども園

幼稚園

保育所

地域型保育給付

小規模保育・家庭的保育
居宅訪問型保育・事業所内保育

保育の必要性の認定

・個々の児童について「保育の必要性」を認定し、認定内容に応じた給付を行う。

・保育の必要性の認定区分は３区分。
【１号認定】満３歳以上・必要性なし
【２号認定】満３歳以上・必要性あり
【３号認定】満３歳未満・必要性あり

支給認定の基準

・保育の必要性を認定する基準（支給認定基準）は、市町村が定めることとなっているが、現在、国の子ども・子育て会議において、その内容が審議されている。

３．保育の量的拡大・確保の概要　―②新たな保育事業―

「地域型保育事業」について

■次の４つの事業が新たに児童福祉法上の市町村認可事業となり、「地域型保育給付」の対象となり、多様な事業の中から利用者が選択できる仕組みを目指す。

①小規模保育事業
- 原則として満３歳未満の保育を必要とする子どもに対する保育を行う。
- 定員は６人以上、１９人以下。

②家庭的保育事業
- 原則として満３歳未満の保育を必要とする子どもに対し、家庭的保育者の居宅等において保育を行う。
- 定員は５人以下。

③居宅訪問型保育事業
- 原則として満３歳未満の保育を必要とする子どもに対し、その居宅において家庭的保育者による保育を行う。

④事業所内保育事業
- 原則として満３歳未満の保育を必要とする子どもに対し、事業所内の施設等において保育を行う。
- 従業員の子どもに加え、一定割合の地域の保育を必要とする子どもを保育。

●４事業のうち、「小規模保育事業」は待機児童解消だけではなく、児童減少地域の保育基盤の維持方策としても活用できるため、国の会議でも優先的に審議されている。

3．保育の量的拡大・確保の概要　―③認可制度の改善―

認可制度の改善について

■保育需要の増大に機動的に対応するため、認定こども園、保育所、地域型保育事業の認可制度の改善・透明化を図る。

①申請内容が客観的な認可基準を満たしていれば、原則として認可する。
（※供給過剰による需給調整が必要な場合や欠格事由に該当する場合は例外）

②認可基準は、国が定める省令に基づき、都道府県・政令市等が条例で定める。
（※奈良市は中核市なので、幼保連携型認定こども園、保育所、地域型保育事業が対象）

③認可に当たっては、行政職員のみで行うのではなく、審議会等による意見を聴かなければならない。
（※現時点では審議会をどのような形態にするかは未定）

保育の量的拡大・確保のまとめ

●保育の量的拡大・確保については、「給付の創設」及び「新たな保育事業」に併せて、認可制度を改善することにより、保育の受け入れ人数を増やし、保育の量的拡大・確保を図り、待機児童の解消に取り組むこととなる。

Ⅱ　奈良市の取組状況について
（保育の量的拡大・確保）

１．奈良市の教育・保育の受け皿①

認定こども園

■概要
・保護者の就労の有無に関わらず、教育・保育を一体的に実施
・地域における子育て支援についても実施

■対象児童　…　幼稚園型：３歳～小学校就学前まで、保育所型：０歳～小学校就学前まで

■利用時間　…　短時間利用：１日４時間程度、長時間利用：１日８時間程度

■施設数　…　幼稚園型：２か所、保育所型：１か所

■利用者数　…　幼稚園型：295人（25.5.1）、保育所型：131人（25.8.1）

幼稚園

■概要　…　幼稚園教育要領に基づき、幼児期の学校教育を行う。

■対象児童　…　３歳から小学校就学前まで（市立は満４歳から）

■利用時間　…　標準的な教育時間：４時間、別途、預かり保育を実施（市立：６か所、私立15か所）

■施設数　…　国立：２か所、市立：36か所、私立：15か所

■利用者数　…　4,027人（国立：284人、市立：1,630人、私立：2,113人）※25.5.1
年齢別（３歳：761人、４歳：1,528人、５歳：1,738人）

１．奈良市の教育・保育の受け皿②

認可保育所

■概要　…　保育所保育指針に基づき、日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育する。

■対象児童　…　０歳から小学校就学前までの「保育に欠ける」児童

■利用時間　…　奈良市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例では原則８時間とし、保護者の労働状況や家庭状況を勘案し、保育所の長が定める。

■施設数　…　市立：18か所、私立：25か所

■利用者数　…　5,672人（市立：2,300人、私立：3,372人）※25.8.1
年齢別（０歳：459人、１歳：897人、２歳：1,034人、
３歳：1,130人、４歳：1,070人、５歳：1,082人）

認可外保育施設

■概要　…　認可保育所以外の保育施設で、奈良市長による設置認可を受けていない施設。
ベビーホテル・事業所内保育施設・一般認可外保育施設という３つの種類がある。

■対象児童　…　０歳から小学生の間で、施設により異なる

■利用時間　…　午前８時頃～午後７時頃の間で、施設により異なる

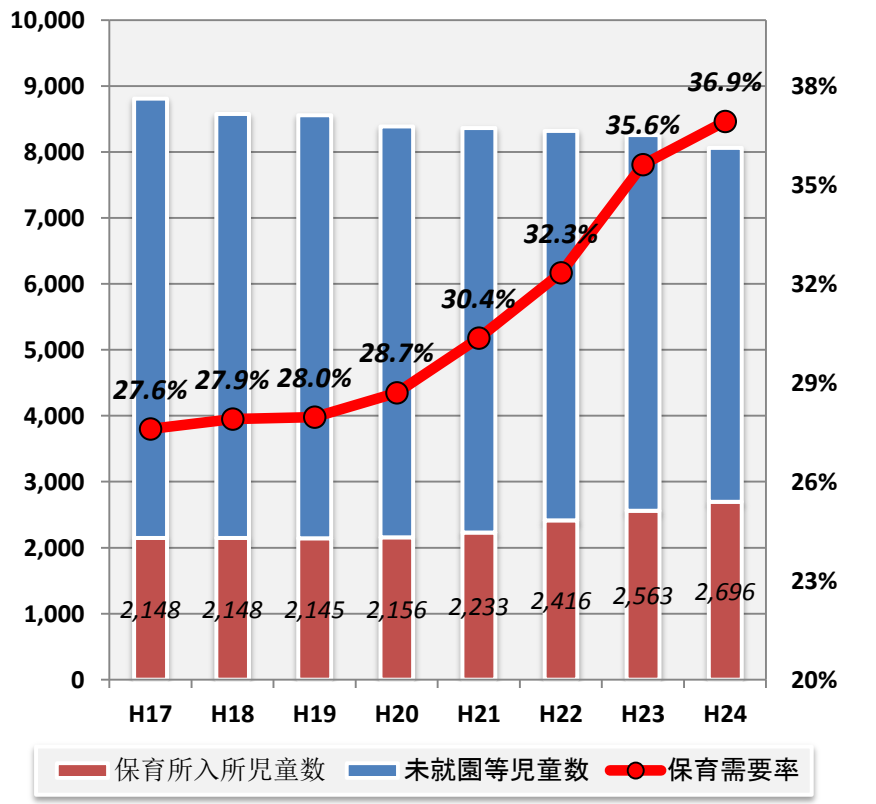
■施設数　…　ベビーホテル：３か所、事業所内保育施設：11か所、一般：８か所

2．奈良市の保育需要の推移

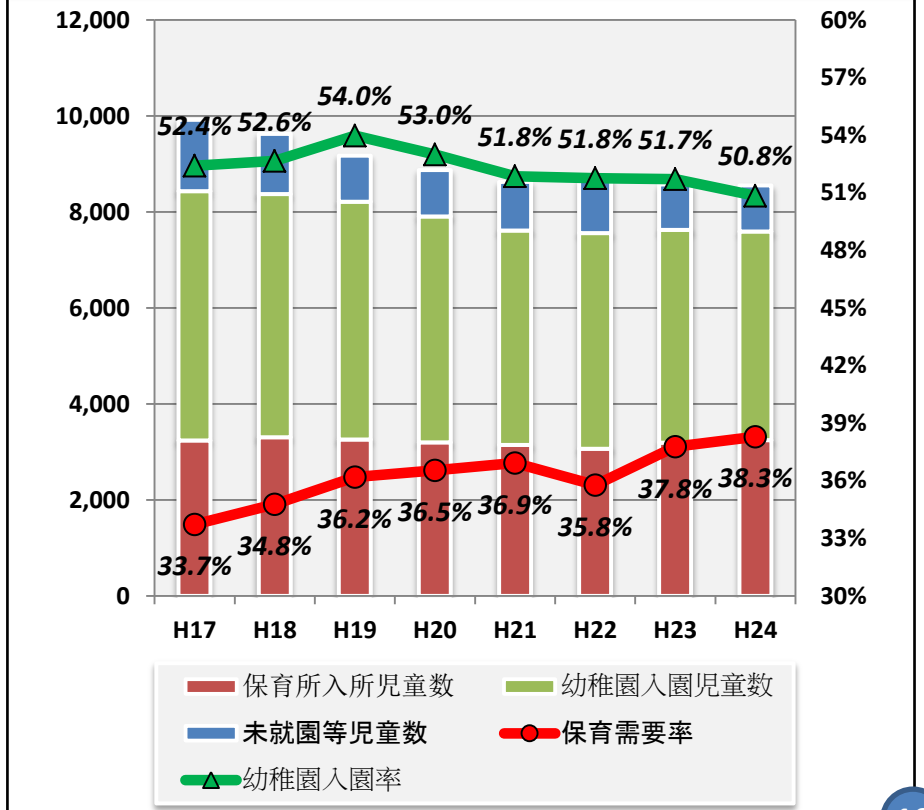
奈良市の保育需要の動向

■本市の全体的な保育需要の動向については、保育需要が市域の西半分に年々偏ってきている傾向がみられる。また、年齢区分では、全国的な動向と同様に、ここ数年の間で３歳未満児の保育所希望の割合（保育需要率）が大幅に増加している（参考１）。３歳以上児については、保育所希望の割合（保育需要率）が徐々に増加する一方で、幼稚園、特に公立幼稚園の就園率が減少している（参考２）。

（参考１）奈良市の０～２歳の需要の推移
※数値は、各年度３月１日時点



（参考２）奈良市の３～５歳の需要の推移
※幼稚園は５月１日、保育所は３月１日時点



３．国の待機児童解消加速化プラン

■平成２５年４月、安倍首相が「待機児童解消加速化プラン」を発表。
■全国的な保育ニーズのピークを迎える平成２９年度末までに、潜在的なニーズも含め、４０万人分の保育の受け皿を確保することを目指すもの。

加速化プランの概要

＜平成25・26年度＞

「緊急集中取組期間」として、約２０万人分の受け皿を確保

→

＜平成27～29年度＞

「取組加速期間」として、２５・２６年度と合わせて、約４０万人分の受け皿を確保

→

平成２９年度末待機児童を解消

「緊急プロジェクト」（平成２５・２６年度）

●以下の５つの事項を柱とした支援パッケージによる国の財政支援

※自治体の手挙げ方式による。

①賃貸方式や国有地も活用した保育所整備【ハコ】
②保育の量拡大を支える保育士確保【ヒト】
③小規模保育事業など新制度の先取り
④認可を目指す認可外保育施設への支援
⑤事業所内保育施設への支援

４．奈良市の待機児童解消に向けた取組

■平成２４年度最終の待機児童数（３月１日）は前年度を下回ったものの、依然として高い数値で推移。
■認可保育所の新増設という従来の手法だけではなく、様々な手法を組み合わせることにより、待機児童解消に向けた取組を進めています。なお、その際には前スライドの「待機児童解消加速化プラン」を積極的に活用することとします。

奈良市の取組の方向性

量の拡大

●認可保育所定員の増加　…　民間保育所の新設や増改築により、定員増を図る。

＋

保育所希望の分散　～保護者の選択肢を増やす～

●市立幼稚園での取組　…　「預かり保育」の拡充（６園・週５日）
…　余裕教室を活用した「家庭的保育」実施の検討

●私立幼稚園での取組　…　長期休業中に預かり保育を実施する私立幼稚園に対して事業補助を行うことにより、預かり保育の充実を目指す。

資料５

部会の審議報告と
奈良市版ニーズ調査票について

第2回　奈良市子ども・子育て会議
平成25年8月30日（金）
奈良市子ども未来部

＜内容＞

１．第１回事業計画策定部会の開催について

２．ニーズ調査票イメージへのご意見等について

３．ニーズ調査の概要について

４．奈良市版調査票（案）のポイントについて

１．第１回事業計画策定部会の開催について①

（１）部会の基礎情報

■部会の設置根拠
- 「奈良市子ども・子育て会議事業計画策定部会設置要領」（第１回子ども・子育て会議　資料３）

■部会の設置目的
- 奈良市の子ども・子育て支援事業計画の策定についての協議と、関連課題の整理のため。
- これから策定しようとする子ども・子育て支援事業計画は、記載内容が多岐に渡るだけではなく、来年度の中頃には計画の素案をパブリックコメント手続に付さなければならないことから、集中的かつ効率的に審議するため。

■部会の所掌事項（設置要領第２条）
- 利用希望の調査に関すること　→　ニーズ調査の実施に関すること
- 子ども・子育て支援法第６１条第２項に関すること　→　全国共通で事業計画に記載する項目
- 子ども・子育て支援法第６１条第３項に関すること　→　任意での記載が認められている項目
- 上記３点のほか、事業計画の策定に関連して検討を要すること

■部会の委員
- 子ども・子育て会議委員及び奈良市及び奈良市教育委員会事務局から会長が指名
- 子ども・子育て会議からは、大方会長、浜田副会長、岡本委員、掘越委員の４名
- 奈良市職員からは、子ども未来部参事、子ども政策課長、こども園推進課長、保育所・幼稚園課長子ども育成課長、子育て相談課長の６名
- 奈良市教育委員会事務局からは、教育政策課長、地域教育課長の２名

１．第１回事業計画策定部会の開催について②

（２）第１回部会の審議内容

■開催状況

- 開催日時：平成２５年８月９日（金）　午前１０時～午前１１時３０分
- 開催場所：奈良市役所　中央棟６階　第２研修室
- 出席委員：１２名中、１１名出席

■当日の議題

- 部会長及びその代理者の選出
- 部会の検討事項及び今後のスケジュールについて
- ニーズ調査項目の設計等について

（３）今年度の部会のスケジュールイメージ

９月	10月	11月～12月	１月～３月
調査票作成・調査実施	調査票集計・分析期間		量の見込みの設定

現行の次世代計画上の取組等の評価　、　事業計画の記載事項・構成の検討

第２回部会　　第３回部会

2．ニーズ調査票イメージへのご意見等について①

■奈良市版のニーズ調査票を作成するに当たり、検討のベースとなる国の調査票イメージを基に、子ども・子育て会議の委員の皆様へご意見やご提案について照会。

・１回目　…　奈良市子ども・子育て会議委員へ郵送にて依頼（７月２４日締切）
・２回目　…　事業計画策定部会委員へメールにて依頼（８月１６日締切）

（１）表現や見やすさに関する主なご意見・提案

①保護者の就労状況についての設問で、母親と父親の設問が混ざっていて読みにくいので、母親のページと父親のページに分けてみてはどうか。

②事業名や施設名は奈良市で具体的に使用している名称で記載した方がよい。

③選択肢中に「　□□　日」とあるが、記号と誤解する恐れもあり、記入しにくい。

④全体的に漢字が多い、表現が統一されていない用語があり、読みにくいのではないか。

⑤設問文や選択肢の文章の表現が、誘導しているかのような表現があったり、文章が長いものがあるので、表現を工夫した方がよい。

⑥同じような内容の設問が続いているところがあり、簡略化のために設問をまとめてみてはどうか。

⑦大きな設問のグループの配置を工夫すると、対象に合わせて進んでいけるので、回答しやすいのではないか。

2．ニーズ調査票イメージへのご意見等について②

（2）設問・選択肢の追加に関する主なご意見・提案

①保護者の就労していない方への設問で、就労希望だけではなく、就労できない現状や保育サービスが足りていない現状を把握するための選択肢を追加してみてはどうか。

②定期的な教育・保育の事業（認定こども園・幼稚園・保育所）を利用していない理由を選ぶ選択肢について、「利用の対象になるとは知らなかった」という旨の選択肢を追加して、利用者支援の必要性を図ってはどうか。

③奈良市の保護者向けのアンケートでは利用料が高いと感じる意見が上位に挙がる傾向があるため、今後の施策を考える際の参考にするため、実際に何らかの子育て支援施設を利用している方へ、利用料に関する設問を追加してはどうか。

④子育てに関する悩みや不安への設問があるが、習い事や学習塾、学費の負担増など経済的な不安について聞く必要はないのか。

⑤地域の子育て支援の取組の認知度についての設問があるが、記載されている事業・施設だけではなくなるべくたくさん入れてみてはどうか。

⑥小学生児童の保護者への調査票について、平成２０年度に実施した「奈良市次世代育成支援に関するニーズ調査」と経年比較するため、当時と同じ設問をできるだけ活用してほしい。また、放課後の子どもの居場所について、他都市では保護者や子どものニーズに合わせて、多様な事業・支援を準備している動きがあるので、参考にしてみてはどうか。

３．ニーズ調査の概要について①

（１）ニーズ調査の趣旨

●市町村が策定する子ども・子育て支援事業計画は、本市の幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画（５か年計画）のこと。

●事業計画の基礎となる「量の見込み」の設定に当たっては、子ども・子育て支援法及び同法に基づく基本指針において、「現在の利用状況」と「今後の利用希望」を踏まえて設定することとされている。

●「今後の利用希望」を設定するためには、住民に対する利用希望の調査が必要であり、国の子ども・子育て会議において、これまで５回にわたり、市町村に提示する調査票の検討が行われた。

●なお、現行の次世代育成支援後期行動計画（計画期間：平成２２年～平成２６年度）の策定時においても、平成２０年度に「奈良市次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施している。

●よって、事業計画策定のため、他市との比較や過去に実施した調査結果との経年比較が行えるように、基本的には国の調査票イメージに基づいてニーズ調査を実施する。

（２）調査対象・件数

対象者	配布数	想定回収率	調査票
①就学前児童の保護者（０～２歳）	1,500	45%	20頁程度
②就学前児童の保護者（３～５歳）	1,500	45%	20頁程度
③小学生児童の保護者	2,000	45%	16頁程度

3．ニーズ調査の概要について②

（3）ニーズ調査のスケジュール

8月	9月	10月	11月～12月	1月～3月
調査票作成	発送準備・調査実施		発送準備・調査実施	量の見込み

第2回会議

＜スケジュールイメージ＞

- 9月上旬…調査票の最終修正
- 9月中旬…調査票の印刷・発送準備
- 9月下旬…調査票の発送
- 10月中旬…回収締切
- 11月末…集計結果速報版の提示

第2回部会

第3回会議

●子ども・子育て会議及び部会の開催

●「量の見込み」を県に報告（平成２６年３月予定）

４．奈良市版調査票（案）のポイントについて①

（１）調査対象や条件設定について

①調査対象の工夫

調査対象をまとめてしまうと対象外の設問が多くなる恐れがあるため、保護者が回答しやすいように、調査票は「０～２歳」「３～５歳」「小学生」の調査対象ごとに内容をアレンジして作成する。

②エリア（区域）の考え方

今後、量の見込みの設定や事業計画の策定の基礎となるが、奈良市の市立幼稚園・市立保育所の再配置に係る施策である「奈良市幼保再編実施計画」やその他子育て支援に係る施策では、中学校区を基礎としていることから、調査票の設計や、今後の集計・分析においても中学校区を想定している。

③他市比較及び経年比較

調査項目の設計に当たっては、他市との比較ができるよう国の調査票イメージをベースとして、全国共通項目はそのまま使用する。また、現行の次世代計画策定時（平成２０年度）に実施したニーズ調査と経年比較ができるように、調査項目を検討している。

④設問ボリュームの抑制

調査項目が多く、また各ページにぎっしりと文字が詰まっていると、調査票を手にとった保護者が視覚的に圧迫感を感じてしまうため、全国共通の項目以外の設問で、かつ、経年比較にも使用できないような設問は削除する。また、前後に似たような設問が並んでいるような場合にも、集計上で不具合がなければ設問の統合・削除を行い、全体的な調査票のボリュームを抑える。

4．奈良市版調査票（案）のポイントについて②

（2）レイアウトや表現等について

①調査票の説明用紙の作成

調査票の別紙を作成して、その表面にニーズ調査の目的及び記入方法を記載し、裏面には奈良市が取り組む子育て支援に関する事業の説明を記載するが、調査票を手にとった保護者が少しでも回答しようという気持ちになるように、表面・裏面ともに奈良市の子育て応援ホームページである「子育て@なら」のキャラクターのイラストを配置する。

②視覚的な圧迫感への対応

回答する保護者が調査票に対して視覚的な圧迫感を受けないように、紙面の余白等についても考慮するとともに、調査票の中間及び最後のページに、①でも取り上げた「子育て@なら」のキャラクターのイラストを配置する。

③設問グループの順番

国の調査票イメージでは、設問グループの順番に関連性やつながりが感じられなかったため、一部、順番を変更している。具体的には、「平日定期の教育・保育の事業の利用→地域の子育て支援事業の利用→土日の教育・保育の事業の利用→病気の際の対応→不定期の教育・保育の事業の利用」とあったものを、「平日定期の利用→土日の利用→病気の際の対応→地域の子育て支援→不定期の利用」という順番に変更している。

④表現・回答箇所の修正

保育所については、児童福祉法上で「保育所」という名称が定められているが、奈良市では条例において「〇〇保育園」という名称を使用しており、通常は保育園と呼んでいることから、調査票でも「保育園」と表記している。また、選択肢の中に数字等を記載する箇所に、「□□日（時間）」という表現があるが、記号と混同する恐れや見にくい印象があるため、「（　　）日」のようにカッコ書きに統一している。

4．奈良市版調査票（案）のポイントについて③

（3）設問や選択肢の追加について

①認定こども園等を選択する際の視点

認定こども園や幼稚園・保育所といった「定期利用の教育・保育の事業」について、奈良市では特に市立幼稚園・市立保育所については、「幼保再編」を計画しており、今後の具体的な施策を検討する際のデータとして有効であるため、利用の有無だけではなく、事業を選択する際の理由や視点、さらには通園手段についての設問を追加する。

②利用者支援の必要性

新制度において、「利用者支援」に関する事業が法定化されたように、その重要性が増しているが、国の調査票イメージでは利用者支援につながる設問がなかったため、現行の次世代計画策定時に実施したニーズ調査の項目にあった「子育ての不安と悩み」や「子育てに関する情報」に関する設問を追加して経年比較することにより、利用者支援の手法を探る。

③小学生の放課後の過ごし方

小学生の保護者への調査票については、国の方針では調査の実施自体が自治体の任意となっているが、放課後の居場所や過ごし方、さらにバンビーホームの利用状況及び希望についても調査することを有効であると考えることから、調査票を作成するとともに、設問についても現行の次世代計画策定時に実施したニーズ調査の設問を活用・追加している。

奈良市から
子育てに関するニーズ調査へのご協力のお願い

日頃は、本市の子ども・子育て支援行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

現在、国において子育て支援に関する新しい制度が審議されているところですが、本市では、新しい制度を奈良市にあった形でスムーズに導入できるよう、外部有識者や子育て当事者等を委員として「奈良市子ども・子育て会議」を開催し、段階的に審議を重ねているところです。

新しい制度では、幼稚園と保育園の良さをあわせ持つ「認定こども園」の普及を進めるほか、保育園の待機児童の解消や、子育てに対する保護者の不安の軽減など、子育てをめぐる課題について適切に対応していくことが目指されています。そこで今回、市民のみなさまに、お子さんの子育てに関する現状をうかがい、子育てについてのニーズを把握することで、今後の計画づくりに活用させていただくため、アンケートを実施することとなりました。

このアンケートは、市内にお住まいのお子さんの中から対象となる方を無作為に抽出し、そのお子さんの保護者の方あてに送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計データとして処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。

大変お忙しい中、恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただくものと、数字などをご記入いただくものとがあります。
- 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（　　）内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きや矢印に従ってお進みください。
- アンケートに記載されている事業やサービスの名称や内容が分からない場合は、この文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- 封筒、アンケートともに、お名前は記入しないでください。
- **ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、１０月〇〇日（〇）までに、郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。**

＜アンケートに関するお問い合わせ先＞
奈良市　子ども未来部　子ども政策課　（担当：　　）
〒630-8580　奈良市二条大路南一丁目１番１号
電話：0742-34-4792　　ＦＡＸ：0742-34-4798

奈良市が取り組む子育て支援事業の一例

定期的に利用する施設

認定こども園

認可保育園

幼稚園

幼稚園の預かり保育

事業所内保育施設

ー・サポート・センター

その他の認可外保育施設

各事業の簡単な説明と、施設数を記載します。小学生用は内容を変更します。

この別紙は、ニーズ調査の用語集という位置付けでなく、奈良市の取り組みの紹介という意図のもとで作成しています。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

地域子育て支援

の広場

子育てスポット

一時預かり（保育園）

病児・病後児保育

奈良市のホームページ「子育てあっとなら」では、上記の取り組みのほかにも奈良市での子育てに必須の情報を掲載しています。

URL http://www.naracity-kosodate.jp/

子育てあっとなら 検索

０～２歳児

25.8.28

お住まいの地域についてうかがいます。

問１　お住まいの中学校区はどこですか。あてはまる答えの番号に１つだけ〇をつけてください。中学校区がわからない方は、お住まいの町名・番地を回答欄の最後にある（　　）内に記入してください。

１．春日	２．三笠	３．若草	４．伏見	５．富雄	６．都南
７．田原	８．柳生	９．興東	10．登美ヶ丘	11．平城西	12．二名
13．京西	14．富雄南	15．平城	16．飛鳥	17．登美ヶ丘北	18．都跡
19．平城東	20．月ヶ瀬	21．都祁	22．富雄第三		

ご住所（奈良市　　(町)　　(丁目)　　番地）

封筒のあて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。((　　）内に数字でご記入ください。)

平成（　　）年（　　）月生まれ

問３　あて名のお子さんのきょうだいは何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数を（　　）内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数（　　）人　末子の生年月　平成（　　）年（　　）月生まれ

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶者（パートナー）についてお答えください。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．配偶者（パートナー）がいる　　２．配偶者（パートナー）はいない

問６　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問７　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる ２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる ３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる ４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	【問７－１へ】
５．いずれもいない　---▶　【問８へ】	

問７－１　<u>問７で「１.」から「４.」に○をつけた方にうかがいます。</u>
祖父母等の親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．安心して子どもをみてもらえる
２．身体的負担が大きく心配である
３．時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
６．その他（　　）

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問８～問 10 は、あて名のお子さんの母親についてうかがいます。【父子家庭の場合は記入は不要です】

問８　母親の就労状況について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問８－１・２へ】
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問８－１・２、問９へ】
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	【問 10 へ】

問８－１　問８で「１．～４．」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（（　　）内に数字でご記入ください。）

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

問８－２　問８で「１．～４．」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（（　　）内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

問９　問８で「３．」、「４．」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 11 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 10　問８で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態　（１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労） ２．パートタイム，アルバイト等（「１」以外） →１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間）
４．就労したいが仕事が無い
５．就労したいが預け先が無いためできない

問 11～問 13 は、あて名のお子さんの父親についてうかがいます。【母子家庭の場合は記入は不要です】

問 11　父親の就労状況について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問 11－１・２へ】
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問 11－１・２、問 12 へ】
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	【問 13 へ】

問 11－１　問 11 で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（（　　）内に数字でご記入ください。）

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

問 11－２　問 11 で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（（　　）内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

問 12　問 11 で「３．」、「４．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 13　問 11 で「５. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６. これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
　→希望する就労形態
　１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
　２．パートタイム，アルバイト等（「１」以外）
　　→１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間
４．就労したいが仕事が無い
５．就労したいが預け先が無いためできない

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、保育園など、問 14－１に示した事業が含まれます。

問 14　あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．奈良市内で利用している
２．奈良市以外で利用している　---▶　（　　市・町）
　　【問 14―１へ】
３．利用したいが利用できない
４．利用する必要がない
　　【問 14―７へ】

問 14－１　問 14－１～問 14－６は、問 14 で「１. 奈良市内で利用している」、「２．奈良市以外で利用している」に〇をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

１．認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
２．認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
３．家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
４．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
５．自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
６．その他の認可外の保育施設
７．居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
８．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
９．その他（　　）

問 14－２　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（　　）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（１）現在

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間　（（　　）時～（　　）時）

（２）希望

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間　（（　　）時～（　　）時）

問 14－３　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため
２．子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
３．子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
４．子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
５．子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
６．子育て（教育を含む）をしている方が学生である
７．その他（　　）

問 14－４　現在、利用している施設へ通園する手段についてうかがいます。主な通園手段について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．徒歩	２．自転車	３．自家用車
４．路線バス	５．電車	６．その他（　　）

問 14－５　利用されている施設へ通園するためにかかる時間はどのくらいですか。

おおよそ（　　）分

問 14－６　利用されている施設を選んだ理由についてうかがいます。主な理由の番号を３つまで選んで○をつけてください。（２ヶ所以上の施設を利用されている方は、主に利用されている施設についてお答えください。）

１．通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）	
２．教育方針や保育方針の内容がよいから	
３．保育に伴うサービスがよいから（預かり時間・バス送迎・課外教室等）	
４．施設・設備が整っているから（園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等）	
５．園内で調理する手作りの給食が提供されるから	６．保育料・その他経費の負担が少ないから
７．きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）から	８．近所や知人の評判がよいから
９．公立だから	10．私立だから
11．希望の認可保育園に入れなかったから	
12．その他（　　）	

問 14－７　問 14 で「３．利用したいが利用できない」、「４．利用する必要がない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．利用する必要がない	２．子どもの祖父母や親戚の人がみている
３．近所の人や父母の友人・知人がみている	４．利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
５．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	
６．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	
７．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	
８．子どもがまだ小さいため（（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている）	
９．自分が利用の対象になるとは知らなかった	
10．その他（　　）	

問 15　すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。例えば、認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

１．幼稚園（通常の就園時間の利用）
２．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
３．認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員２０人以上のもの）
４．認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
５．小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね６～１９人のもの）
６．家庭的保育（保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業）
７．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
８．自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
９．その他の認可外の保育園
10．居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12．その他（　　）

問 15－１　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「１.」「２.」のいずれかに○をつけてください。

１．奈良市内	２．他の市町村

問 15－２　今後、新たに幼稚園や保育園等の保育施設等を選ぶことを想定した場合、重視することはどのようなことですか。当てはまるものを３つまで選んで○をつけてください。

１．通園距離や立地条件	２．教育方針や保育方針の内容
３．保育に伴うサービス（預かり時間・バス送迎・課外教室等）	
４．施設・設備	５．園内で調理する手作りの給食の提供
６．保育料・その他経費	７．きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）
８．近所や知人の評判	９．公立
10．私立	11．認可された幼稚園・保育園であること
12．その他（　　）	

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 16　あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) ９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（１）土曜日

１．利用する必要はない	
２．ほぼ毎週利用したい ３．月に１～２回は利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで

（２）日曜・祝日

１．利用する必要はない	
２．ほぼ毎週利用したい ３．月に１～２回は利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで

問 16－１　<u>問 16 の（１）もしくは（２）で、「３. 月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。</u>毎週ではなく、月に１～２回は利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．月に数回仕事が入るため	２．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
３．親族の介護や手伝いが必要なため	４．息抜きのため
５．その他（　　）	

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 17　平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 14 で「１.」または「２.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 18 にお進みください。
この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

１．あった　---▶【問 17－１へ】　　２．なかった ---▶ 【問 18 へ】

問 17－１　あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）。

１年間の対処方法	日数
１．父親が休んだ	（　　）日
２．母親が休んだ	（　　）日
３．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	（　　）日
４．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	（　　）日
５．病児・病後児の保育を利用した	（　　）日
６．ベビーシッターを利用した	（　　）日
７．ファミリー・サポート・センターを利用した	（　　）日
８．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日
９．その他（　　）	（　　）日

【問 17-５へ】

問 17－２　問 17－１で「１.」「２.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についても（　　）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒（　　）日 ---▶【問 17－３へ】
２．利用したいとは思わない ----▶【問 17－４へ】

問 17－３　問 17－２で「１. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
２．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
３．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）----▶【問 18 へ】

問 17－４　問 17－２で「２．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	２．質に不安がある
３．利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
４．利用料がかかる・高い	５．利用料がわからない
６．親が仕事を休んで対応する	７．その他（　　）

問 17－５　問 17－１で「３.」から「９.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「３.」から「９.」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても数字でご記入ください。

１．できれば仕事を休んでみたい ⇒（　　）日 ---▶ 【問 18 へ】
２．休んでみることは非常に難しい ---▶ 【問 17－６へ】

問 17－６　問 17－５で「２．休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの看護を理由に休みがとれない	２．自営業なので休めない
３．休暇日数が足りないので休めない	４．その他（　　）

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 18　奈良市が行っている次の子育て支援事業を知っていますか。次の中から、知っているものすべてに○をつけてください。

１．地域子育て支援センター	２．つどいの広場
３．子育てスポット	４．ひとつも知らない

問 19　あて名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」、「つどいの広場」、「子育てスポット」を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

１．地域子育て支援センター
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
２．つどいの広場
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
３．子育てスポット
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
４．利用していない

問 20　問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号１つに〇をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

１．利用していないが、今後利用したい
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
２．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　１週当たり 更に（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり 更に（　　）回程度
３．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 21　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに〇をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①母親教室	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
②保健センターの情報・相談サービス	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
③家庭教育に関する講座・講演会	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放 （子育て相談も含む）	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑥児童館	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑦子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑧市が発信している子育て支援情報	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑨子ども発達センター	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑩ファミリー・サポート・センター	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 22　あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も（　　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
１．一時預かり （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	（　　）日
２．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	（　　）日
３．夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（　　）日
４．ベビーシッター	（　　）日
５．その他（　　）	（　　）日
６．利用していない	

問 22－１　問 22 で「６．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない	２．利用したいサービスが地域にない
３．質に不安がある	４．利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．利用料がかかる・高い	６．利用料がわからない
７．自分が利用できるかどうかわからない	８．サービスの利用方法（手続き等）がわからない
９．その他（　　）	

問 23　あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（　　）内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．利用したい		計（　　）日
【問 23-1 へ】	１　私用（買物）、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的	（　　）日
	２　冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（　　）日
	３　不定期の就労	（　　）日
	４　その他（　　）	（　　）日
２．利用する必要はない　---▶　【問 24 へ】		

問 23－１　問 23 で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
２．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
３．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）

問 24　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
１．あった	１　（同居者を含む）親族・知人にみてもらった　---▶【問 25 へ】	（　　）泊
	２　短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（　　）泊
	３　２以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊
	４　仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊
	５　仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊
	６　その他（　　）	（　　）泊
２．なかった		

問 24－１　問 24 で「１．あった　１（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．非常に困難	２．どちらかというと困難	３．特に困難ではない

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 25　あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけ、該当する（　　）内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
１．働いていなかった ２．取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）日 ３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	１．働いていなかった ２．取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）日 ３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育園などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取得できることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
15．その他（　　）

問 25－１　子どもが原則１歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
２．育児休業給付のみ知っていた
３．保険料免除のみ知っていた
４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 25－２　問 25 で「２.取得した（取得中である）」に〇をつけた方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

（１）母親

１．育児休業取得後、職場に復帰した	２．現在も育児休業中である
３．育児休業中に離職した	

（２）父親

１．育児休業取得後、職場に復帰した	２．現在も育児休業中である
３．育児休業中に離職した	

問 25－３　問 25－２で「１.育児休業取得後、職場に復帰した」に〇をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに〇をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「１.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「１.」を選択してください。

（１）母親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

（２）父親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

問 25－４　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

（１）母親

実際の取得期間（　　）歳（　　）ヶ月	希望（　　）歳（　　）ヶ月

（２）父親

実際の取得期間（　　）歳（　　）ヶ月	希望（　　）歳（　　）ヶ月

問 25－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

（１）母親

（　　）歳（　　）ヶ月

（２）父親

（　　）歳（　　）ヶ月

問 25－６　問 25－４で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（１）「希望」より早く復帰した方　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育園に入るため	２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった	４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）	

②父親

１．希望する保育園に入るため	２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった	４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）	

（２）「希望」より遅く復帰した方　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育園に入れなかったため	２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため	４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため	
６．その他（　　）	

②父親

１．希望する保育園に入れなかったため	２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため	４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため	
６．その他（　　）	

問 25－７　問 25－２で「１.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

（２）父親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 25－８　問 25－７で「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（１）母親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

（２）父親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

問 25－９　問 25－２で「２.現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい	２．１歳になる前に復帰したい

（２）父親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい	２．１歳になる前に復帰したい

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問 26　奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が低い ←→ 満足度が高い				
１	２	３	４	５

問 27　子育てに関する情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．親族（親、きょうだいなど）	２．隣近所の人、知人、友人
３．保育園など	４．市役所や市の機関
５．市の広報やパンフレット	６．テレビ、ラジオ、新聞
７．子育て雑誌・育児書	８．インターネット
９．コミュニティー誌	10．その他（　　）
11．情報の入手先がない	12．情報の入手手段がわからない

問 28　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．病気や発育・発達に関すること	２．食事や栄養に関すること
３．育児の方法がよくわからないこと	４．子どもとの接し方に自信が持てないこと
５．子どもとの時間を十分にとれないこと	６．話し相手や相談相手がいないこと
７．仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	８．子どもの教育に関すること
９．友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	10．不登校などの問題について

11．子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12．配偶者・パートナーと意見が合わないこと
13．自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
14．配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15．子どもを叱りすぎているような気がすること
16．子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18．その他（　　）
19．特にない

問 29　子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していらっしゃいますか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1．配偶者・パートナー	2．その他の親族（親・きょうだいなど）
3．隣近所の人、地域の知人、友人	4．職場の人
5．保育園などの保護者の仲間	6．子育てサポーター
7．保育園などの先生	8．医師・保健師・看護師・栄養士など
9．家庭児童相談室（子育て相談課）	
10．地域子育て支援拠点（ひろばやセンター）のスタッフやボランティアの人	
11．母子相談員	12．民生・児童委員、主任児童委員
13．教育相談室	14．保健センター
15．保健所	16．中央こども家庭相談センター（児童相談所）
17．民間の電話相談	18．インターネットを利用したコミュニケ-ション
19．相談相手がいない	20．その他（　　）
21．相談すべきことがない	

問 30　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。
また、サポートを受けたことがある方は、実際にうけたサポートで良かったことや、サポートを受けてどうなったか（解決につながった、など）についてもご記入ください。

問 31　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

奈良市から
子育てに関するニーズ調査へのご協力のお願い

日頃は、本市の子ども・子育て支援行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

現在、国において子育て支援に関する新しい制度が審議されているところですが、本市では、新しい制度を奈良市にあった形でスムーズに導入できるよう、外部有識者や子育て当事者等を委員として「奈良市子ども・子育て会議」を開催し、段階的に審議を重ねているところです。

新しい制度では、幼稚園と保育園の良さをあわせ持つ「認定こども園」の普及を進めるほか、保育園の待機児童の解消や、子育てに対する保護者の不安の軽減など、子育てをめぐる課題について適切に対応していくことが目指されています。そこで今回、市民のみなさまに、お子さんの子育てに関する現状をうかがい、子育てについてのニーズを把握することで、今後の計画づくりに活用させていただくため、アンケートを実施することとなりました。

このアンケートは、市内にお住まいのお子さんの中から対象となる方を無作為に抽出し、そのお子さんの保護者の方あてに送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計データとして処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。

大変お忙しい中、恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただくものと、数字などをご記入いただくものとがあります。
- 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（　　）内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きや矢印に従ってお進みください。
- アンケートに記載されている事業やサービスの名称や内容が分からない場合は、この文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- 封筒、アンケートともに、お名前は記入しないでください。
- **ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、１０月〇〇日（〇）までに、郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。**

＜アンケートに関するお問い合わせ先＞
奈良市　子ども未来部　子ども政策課　（担当：　　）
〒630-8580　奈良市二条大路南一丁目１番１号
電話：0742-34-4792　　ＦＡＸ：0742-34-4798

奈良市が取り組む子育て支援事業の一例

定期的に利用する施設

認定こども園

認可保育園

幼稚園

預かり保育

事業所内保育施設

ミリー・サポート・センター

その他の認可外保育施設

各事業の簡単な説明と、施設数を記載します。小学生用は内容を変更します。

この別紙は、ニーズ調査の用語集という位置付けでなく、奈良市の取り組みの紹介という意図のもとで作成しています。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

地域子育て支援センタ

広場

子育てスポット

一時預かり（保育園）

病児・病後児保育

奈良市のホームページ「子育てあっとなら」では、上記の取り組みのほかにも奈良市での子育てに必須の情報を掲載しています。

URL http://www.naracity-kosodate.jp/

子育てあっとなら 検索

お住まいの地域についてうかがいます。

問１　お住まいの中学校区はどこですか。あてはまる答えの番号に１つだけ〇をつけてください。中学校区がわからない方は、お住まいの町名・番地を回答欄の最後にある（　　）内に記入してください。

１．春日	２．三笠	３．若草	４．伏見	５．富雄	６．都南
７．田原	８．柳生	９．興東	10．登美ヶ丘	11．平城西	12．二名
13．京西	14．富雄南	15．平城	16．飛鳥	17．登美ヶ丘北	18．都跡
19．平城東	20．月ヶ瀬	21．都祁	22．富雄第三		

ご住所（奈良市　　(町)　　(丁目)　　番地）

封筒のあて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（(　　）内に数字でご記入ください。）

平成（　　）年（　　）月生まれ

問３　あて名のお子さんのきょうだいは何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数を（　　）内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数（　　）人　　末子の生年月　平成（　　）年（　　）月生まれ

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶者（パートナー）についてお答えください。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．配偶者（パートナー）がいる　　２．配偶者（パートナー）はいない

問６　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問７　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
　　【問７－１へ】

５．いずれもいない　---▶　**【問８へ】**

問７－１　問７で「１.」から「４.」に〇をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

１．安心して子どもをみてもらえる
２．身体的負担が大きく心配である
３．時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
６．その他（

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問８～問 10 は、あて名のお子さんの母親についてうかがいます。【父子家庭の場合は記入は不要です】

問８　母親の就労状況について、当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問８－１・２へ】
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問８－１・２、問９へ】
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	【問 10 へ】

問８－１　問８で「１.～４.」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（（　　）内に数字でご記入ください。）

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

問８－２　問８で「１.～４.」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（（　　）内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

問９　問８で「３.」、「４.」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問 11 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 10　問８で「５.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６.これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態　１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労） ２．パートタイム，アルバイト等（「１」以外） →１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間
４．就労したいが仕事が無い
５．就労したいが預け先が無いためできない

問 11～問 13 は、あて名のお子さんの父親についてうかがいます。【母子家庭の場合は記入は不要です】

問 11　父親の就労状況について、当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	**【問 11－１・２へ】**
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	**【問 11－１・２、問 12 へ】**
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	**【問 13 へ】**

問 11－１　問 11 で「１.～４.」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。
週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（（　　）内に数字でご記入ください。）

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

問 11－２　問 11 で「１.～４.」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（（　　）内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

問 12　問 11 で「３.」、「４.」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 13　問 11 で「５.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６.これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態　１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労） ２．パートタイム，アルバイト等（「１」以外） →１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間
４．就労したいが仕事が無い
５．就労したいが預け先が無いためできない

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問 14－１に示した事業が含まれます。

問 14　あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．奈良市内で利用している ２．奈良市以外で利用している　---▶　（　　市・町）	【問 14―１へ】
３．利用したいが利用できない ４．利用する必要がない	【問 14―７へ】

問 14－１　問 14－１～問 14－６は、問 14 で「１. 奈良市内で利用している」、「２．奈良市以外で利用している」に〇をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

１．幼稚園（通常の就園時間の利用）
２．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
３．認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
４．認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
５．家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
６．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
７．自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
８．その他の認可外の保育施設
９．居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
11．その他（　　）

問 14－２　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（　　）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（１）現在

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間　（（　　）時～（　　）時）

（２）希望

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間　（（　　）時～（　　）時）

問 14－３　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため
２．子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
３．子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
４．子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
５．子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
６．子育て（教育を含む）をしている方が学生である
７．その他（　　）

問 14－４　現在、利用している施設へ通園する手段についてうかがいます。主な通園手段について、当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．徒歩	２．自転車	３．自家用車
４．通園バス	５．路線バス	６．電車
７．その他（　　）		

問 14－５　利用されている施設へ通園するためにかかる時間はどのくらいですか。

おおよそ（　　）分

問 14－６　利用されている施設を選んだ理由についてうかがいます。主な理由の番号を３つまで選んで○をつけてください。（２ヶ所以上の施設を利用されている方は、主に利用されている施設についてお答えください。）

１．通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）
２．教育方針や保育方針の内容がよいから
３．保育に伴うサービスがよいから（預かり時間・バス送迎・課外教室等）
４．施設・設備が整っているから（園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等）
５．園内で調理する手作りの給食が提供されるから
６．保育料・その他経費の負担が少ないから
７．きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）から
８．近所や知人の評判がよいから
９．公立だから
10．私立だから
11．希望の幼稚園、認可保育園に入れなかったから
12．その他（　　）

問 14－７　問 14 で「３．利用したいが利用できない」、「４．利用する必要がない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．利用する必要がない
２．子どもの祖父母や親戚の人がみている
３．近所の人や父母の友人・知人がみている
４．利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
５．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
６．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
７．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
８．子どもがまだ小さいため（（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている）
９．自分が利用の対象になるとは知らなかった
10．その他（　　）

問 15　すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。例えば、認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

１．幼稚園（通常の就園時間の利用）
２．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
３．認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員２０人以上のもの）
４．認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
５．小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね６～１９人のもの）
６．家庭的保育（保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業）
７．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
８．自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
９．その他の認可外の保育施設
10．居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12．その他（　　）

問 15－１　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「１.」「２.」のいずれかに○をつけてください。

１．奈良市内	２．他の市町村

問 15－２　今後、新たに幼稚園や保育園等の保育施設等を選ぶことを想定した場合、重視することはどのようなことですか。当てはまるものを３つまで選んで○をつけてください。

１．通園距離や立地条件	２．教育方針や保育方針の内容
３．保育に伴うサービス（預かり時間・バス送迎・課外教室等）	
４．施設・設備	５．園内で調理する手作りの給食の提供
６．保育料・その他経費	７．きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）
８．近所や知人の評判	９．公立
10．私立	11．認可された幼稚園・保育園であること
12．その他（　　）	

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 16　あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) ９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（１）土曜日

１．利用する必要はない	
２．ほぼ毎週利用したい ３．月に１～２回は利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで

（２）日曜・祝日

１．利用する必要はない	
２．ほぼ毎週利用したい ３．月に１～２回は利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで

問 16－１　<u>問 16 の（１）もしくは（２）で、「３. 月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。</u>
毎週ではなく、月に１～２回は利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．月に数回仕事が入るため	２．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
３．親族の介護や手伝いが必要なため	４．息抜きのため
５．その他（　　）	

問 17　<u>「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。</u>
あて名のお子さんについて、「幼稚園の預かり保育」を平日に定期的に利用されていますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．はい ------→ **【問 17－１へ】**	２．いいえ ------→ **【問 18 へ】**

問 17－１　問 17 で、「１．はい」に○をつけた方にうかがいます。

「幼稚園の預かり保育」を平日に定期的に利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．就労しているため	２．学生であるため
３．介護等をしているため	４．病気や障がいがあるため
５．自分の時間をつくりたいため	６．親族や知人に負担をかけたくないため
７．保育園に空きがなかったため	８．保育園ではなく、幼稚園に通わせたいため
９．保育園よりも利用料が安いため	10.送迎バスがあるため
11.その他（　　）	

問 17－２　「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) ９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

１．利用する必要はない

２．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
３．休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯
（　　）時から　（　　）時まで

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 18　平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 14 で「１.」または「２.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 19 にお進みください。

この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

１．あった　---▶【問 18－１へ】　　２．なかった ---▶【問 19 へ】

問 18－１　あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）。

１年間の対処方法	日数
１．父親が休んだ	（　　）日
２．母親が休んだ	（　　）日
３．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	（　　）日
４．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	（　　）日
５．病児・病後児の保育を利用した	（　　）日
６．ベビーシッターを利用した	（　　）日
７．ファミリー・サポート・センターを利用した	（　　）日
８．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日
９．その他（　　）	（　　）日

---▶【問 18-5 へ】

---▶【問 18-2 へ】

問 18－２　問 18－１で「１.」「２.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についても（　　）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒（　　）日 ---▶【問 18－３へ】
２．利用したいとは思わない ----▶【問 18－４へ】

問 18－３　問 18－２で「１. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
２．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
３．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）----▶【問 19 へ】

問 18－４　問 18－２で「２．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	２．質に不安がある
３．利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
４．利用料がかかる・高い	５．利用料がわからない
６．親が仕事を休んで対応する	７．その他（　　）

問 18－５　問 18－１で「３.」から「９.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても数字でご記入ください。

１．できれば仕事を休んでみたい ⇒（　　）日 ---▶【問 19 へ】
２．休んでみることは非常に難しい ---▶【問 18－６ へ】

問 18－６　問 18－５で「２．休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの看護を理由に休みがとれない	２．自営業なので休めない
３．休暇日数が足りないので休めない	４．その他（　　）

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 19　奈良市が行っている次の子育て支援事業を知っていますか。次の中から、知っているものすべてに○をつけてください。

１．地域子育て支援センター	２．つどいの広場
３．子育てスポット	４．ひとつも知らない

問 20　あて名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」、「つどいの広場」、「子育てスポット」を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

1．地域子育て支援センター
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
2．つどいの広場
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
3．子育てスポット
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
4．利用していない

問 21　問 19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

1．利用していないが、今後利用したい
　１週当たり（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり（　　）回程度
2．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　１週当たり 更に（　　）回　　もしくは　　１ヶ月当たり 更に（　　）回程度
3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 22　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①母親教室	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
②保健センターの情報・相談サービス	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
③家庭教育に関する講座・講演会	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放（子育て相談も含む）	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑥児童館	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑦子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑧市が発信している子育て支援情報	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑨子ども発達センター	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑩ファミリー・サポート・センター	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23　あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も（　　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
１．一時預かり （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	（　　）日
２．幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（　　）日
３．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	（　　）日
４．夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（　　）日
５．ベビーシッター	（　　）日
６．その他（　　）	（　　）日
７．利用していない	

問 23－１　問 23 で「７．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない	２．利用したいサービスが地域にない
３．質に不安がある	４．利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．利用料がかかる・高い	６．利用料がわからない
７．自分が利用できるかどうかわからない	８．サービスの利用方法（手続き等）がわからない
９．その他（　　）	

問 24　あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（　　）内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．利用したい		計（　　）日
【問 24-1 へ】	１　私用（買物）、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的	（　　）日
	２　冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（　　）日
	３　不定期の就労	（　　）日
	４　その他（　　）	（　　）日
２．利用する必要はない　---▶　【問 25 へ】		

問 24－１　問 24 で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
２．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
３．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）

問 25　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1．あった	1　（同居者を含む）親族・知人にみてもらった-----▶【問 25－１へ】	（　　）泊
	2　短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（　　）泊
	3　２以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊
	4　仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊
	5　仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊
	6　その他（　　）	（　　）泊
2．なかった		

問 25－１　問 25 で「１．あった　１（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．非常に困難	2．どちらかというと困難	3．特に困難ではない

あて名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。【５歳未満の方は問 30 へ】

問 26　あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」:
地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（概ね 10 歳未満）の生活の場を提供するものです。

1．自宅	週（　　）日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4．児童館 ※1	週（　　）日くらい
5．放課後子ども教室 ※2	週（　　）日くらい
6．バンビーホーム（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい → 下校時から（　　）時まで
7．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
8．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※１　児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「６．」に回答

※２　「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27　あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18 時　のように 24 時間制でご記入ください。
※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

１．自宅	週（　　）日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
４．児童館 ※	週（　　）日くらい
５．放課後子ども教室	週（　　）日くらい
６．バンビーホーム（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい → 下校時から（　　）時まで
７．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※　児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「６.」に回答

問 28　<u>問 26 または問 27 で「６．バンビーホーム」に○をつけた方にうかがいます。</u>
あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、バンビーホームの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（　　）内に（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（１）土曜日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

（２）日曜・祝日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

問 29　あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のバンビーホームの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（　　）内に（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30　あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけ、該当する（　　）内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
１．働いていなかった	１．働いていなかった
２．取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）日	２．取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）日
３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育園などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取得できることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
15．その他（　　）

問 30－１　子どもが原則１歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
２．育児休業給付のみ知っていた
３．保険料免除のみ知っていた
４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30－２　<u>問 30 で「２. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。</u>
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．育児休業取得後、職場に復帰した
２．現在も育児休業中である
３．育児休業中に離職した

（２）父親

１．育児休業取得後、職場に復帰した
２．現在も育児休業中である
３．育児休業中に離職した

問 30－３　問 30－２で「１. 育児休業取得後、職場に復帰した」に〇をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに〇をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「１.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「１.」を選択してください。

（１）母親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

（２）父親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

問 30－４　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

（１）母親

実際の取得期間（　　）歳（　　）ヶ月	希望（　　）歳（　　）ヶ月

（２）父親

実際の取得期間（　　）歳（　　）ヶ月	希望（　　）歳（　　）ヶ月

問 30－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

（１）母親

（　　）歳（　　）ヶ月

（２）父親

（　　）歳（　　）ヶ月

問 30－６　問 30－４で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（１）「希望」より早く復帰した方　※当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

①母親

１．希望する保育園に入るため	２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった	４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）	

②父親

１．希望する保育園に入るため	２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった	４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）	

（２）「希望」より遅く復帰した方　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育園に入れなかったため	２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため	４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため	
６．その他（　　）	

②父親

１．希望する保育園に入れなかったため	２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため	４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため	
６．その他（　　）	

問 30－７　問 30－２で「１. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

（２）父親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 30－８　問 30－７で「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（１）母親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

（２）父親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問 31　奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が低い ←→ 満足度が高い

１　２　３　４　５

問 32　子育てに関する情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．親族（親、きょうだいなど）
２．隣近所の人、知人、友人
３．保育園や幼稚園など
４．市役所や市の機関
５．市の広報やパンフレット
６．テレビ、ラジオ、新聞
７．子育て雑誌・育児書
８．インターネット
９．コミュニティー誌
10．その他（　　）
11．情報の入手先がない
12．情報の入手手段がわからない

問 33　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．病気や発育・発達に関すること	2．食事や栄養に関すること
3．育児の方法がよくわからないこと	4．子どもとの接し方に自信が持てないこと
5．子どもとの時間を十分にとれないこと	6．話し相手や相談相手がいないこと
7．仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	8．子どもの教育に関すること
9．友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	10．不登校などの問題について
11．子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	
12．配偶者・パートナーと意見が合わないこと	
13．自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	
14．配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	
15．子どもを叱りすぎているような気がすること	
16．子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	
17．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	
18．その他（　　）	
19．特にない	

問 34　子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していらっしゃいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．配偶者・パートナー	2．その他の親族（親・きょうだいなど）
3．隣近所の人、地域の知人、友人	4．職場の人
5．保育園などの保護者の仲間	6．子育てサポーター
7．保育園などの先生	8．医師・保健師・看護師・栄養士など
9．家庭児童相談室（子育て相談課）	
10．地域子育て支援拠点（ひろばやセンター）のスタッフやボランティアの人	
11．母子相談員	12．民生・児童委員、主任児童委員
13．教育相談室	14．保健センター
15．保健所	16．中央こども家庭相談センター（児童相談所）
17．民間の電話相談	18．インターネットを利用したコミュニケ-ション
19．相談相手がいない	20．その他（　　）
21．相談すべきことがない	

問 35　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。
また、サポートを受けたことがある方は、実際にうけたサポートで良かったことや、サポートを受けてどうなったか（解決につながった、など）についてもご記入ください。

問 36　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

奈良市から
子育てに関するニーズ調査へのご協力のお願い

日頃は、本市の子ども・子育て支援行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

現在、国において子育て支援に関する新しい制度が審議されているところですが、本市では、新しい制度を奈良市にあった形でスムーズに導入できるよう、外部有識者や子育て当事者等を委員として「奈良市子ども・子育て会議」を開催し、段階的に審議を重ねているところです。

新しい制度では、幼稚園と保育園の良さをあわせ持つ「認定こども園」の普及を進めるほか、保育園の待機児童の解消や、バンビーホームの充実、子育てに対する保護者の不安の軽減など、子育てをめぐる課題について適切に対応していくことが目指されています。そこで今回、市民のみなさまに、お子さんの子育てに関する現状をうかがい、子育てについてのニーズを把握することで、今後の計画づくりに活用させていただくため、アンケートを実施することとなりました。

このアンケートは、市内にお住まいのお子さんの中から対象となる方を無作為に抽出し、そのお子さんの保護者の方あてに送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計データとして処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。

大変お忙しい中、恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただくものと、数字などをご記入いただくものとがあります。
- 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（　　）内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きや矢印に従ってお進みください。
- アンケートに記載されている事業やサービスの名称や内容が分からない場合は、この文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- 封筒、アンケートともに、お名前は記入しないでください。
- **ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、１０月〇〇日（〇）までに、郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。**

＜アンケートに関するお問い合わせ先＞
奈良市　子ども未来部　子ども政策課　（担当：　　）
〒630-8580　奈良市二条大路南一丁目１番１号
電話：0742-34-4792　　ＦＡＸ：0742-34-4798

奈良市が取り組む子育て支援事業の一例

定期的に利用する施設

認定こども園

認可保育園

幼稚園

預かり保育

各事業の簡単な説明と、施設数を記載します。小学生用は内容を変更します。

事業所内保育施設

ミリー・サポート・センター

その他の認可外保育施設

この別紙は、ニーズ調査の用語集という位置付けでなく、奈良市の取り組みの紹介という意図のもとで作成しています。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

地域子育て支援センタ

広場

子育てスポット

一時預かり（保育園）

病児・病後児保育

奈良市のホームページ「子育てあっとなら」では、上記の取り組みのほかにも奈良市での子育てに必須の情報を掲載しています。

URL http://www.naracity-kosodate.jp/

子育てあっとなら 検索

就学児童

お住まいの地域についてうかがいます。

問１　お住まいの中学校区はどこですか。あてはまる答えの番号に１つだけ〇をつけてください。中学校区がわからない方は、お住まいの町名・番地を回答欄の最後にある（　　）内に記入してください。

１．春日	２．三笠	３．若草	４．伏見	５．富雄	６．都南
７．田原	８．柳生	９．興東	10．登美ヶ丘	11．平城西	12．二名
13．京西	14．富雄南	15．平城	16．飛鳥	17．登美ヶ丘北	18．都跡
19．平城東	20．月ヶ瀬	21．都祁	22．富雄第三		

ご住所（奈良市　　(町)　　(丁目)　　番地）

封筒のあて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（(　　）内に数字でご記入ください。）

平成（　　）年（　　）月生まれ

問３　あて名のお子さんのきょうだいは何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数を（　　）内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数（　　）人　末子の生年月　平成（　　）年（　　）月生まれ

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶者（パートナー）についてお答えください。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．配偶者（パートナー）がいる　　２．配偶者（パートナー）はいない

問６　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問７　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる ２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる ３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる ４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	【問７－１へ】
５．いずれもいない　---▶　【問８へ】	

問７－１　問７で「１．」から「４．」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．安心して子どもをみてもらえる
２．身体的負担が大きく心配である
３．時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
６．その他（　　）

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問８～問 10 は、あて名のお子さんの母親についてうかがいます。【父子家庭の場合は記入は不要です】

問８　母親の就労状況について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問８－１・２へ】
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【問８－１・２、問９へ】
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	【問 10 へ】

問８－１　問８で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（（　　）内に数字でご記入ください。）

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

問８－２　問８で「１.～４.」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（（　　）内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

問９　問８で「３.」、「４.」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 11 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 10　問８で「５.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６.これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態　１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労） ２．パートタイム，アルバイト等（「１」以外） →１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間
４．就労したいが仕事が無い
５．就労したいが預け先が無いためできない

問 11～問 13 は、あて名のお子さんの父親についてうかがいます。【母子家庭の場合は記入は不要です】

問 11　父親の就労状況について、当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	**【問 11－１・２へ】**
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	**【問 11－１・２、問 12 へ】**
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	**【問 13 へ】**

問 11－１　問 11 で「１.～４.」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（（　　）内に数字でご記入ください。）

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

問 11－２　問 11 で「１.～４.」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（（　　）内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

問 12　問 11 で「３.」、「４.」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 13　問 11 で「５.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６.これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号１つに〇をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態　（１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労） ２．パートタイム，アルバイト等（「１」以外） →１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間）
４．就労したいが仕事が無い
５．就労したいが預け先が無いためできない

あて名のお子さんの居場所についてうかがいます。

問 14　平日の放課後の日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ１つずつ選んで下の表に番号を記入してください。

14～16 時	16～18 時	18～20 時	20 時以降

１．学校にいた
２．バンビーホーム（放課後児童クラブ）で過ごした
３．保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした
４．家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごした
５．家でひとりで過ごした（自分以外に誰もいない状態）
６．友だちの家にいた
７．公園などで友だちと遊んでいた
８．児童館などの公共の施設にいた
９．クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた
10．学習塾や習いごとを行っていた
11．その他（　　）

問 15　家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。下の中から主な番号を３つまで選んで○をつけてください。

１．近くに遊び場がない
２．雨の日に遊べる場所がない
３．思い切り遊ぶために十分な広さがない
４．遊具などの種類が充実していない
５．不衛生である
６．いつも閑散としていて寂しい感じがする
７．遊具などの設備が古くて危険である
８．緑などの自然が少ない
９．遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10．遊び場周辺の道路が危険である
11．遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
12．その他（　　）
13．特に感じることはない

問 16　身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。次の中から希望する番号をすべて選んで○をつけてください。

１．子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場
２．子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場
３．子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場
４．子ども自身が悩みを相談できる場
５．その他（　　）

バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用についてうかがいます。

問 17　あて名のお子さんについて、現在、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

バンビーホーム（放課後児童クラブ）…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（概ね 10 歳未満）の生活の場を提供するものです。問 18 の「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。

1．利用している ---▶ **【問 17－１へ】**	2．利用していない ---▶ **【問 17－２、３へ】**

問 17－１　問 17 で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。

あて名のお子さんについて、バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用日数はどれくらいですか。
また、利用している理由について、あてはまる答えの番号１つだけに○をつけてください。

（１）利用日数

週（　　）日くらい　→　うち土曜日の利用（1．ある　　2．ない）

（２）利用している理由

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1．現在就労している	2．就労予定がある
3．家族・親族などを介護しなければならない	4．病気や障がいをもっている
5．学生である	6．その他（　　）

問 17－２　問 17 で「２．利用していない」に○をつけた方におうかがいします。

利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号１つだけに○をつけてください。

1．現在就労していないから
2．就労しているが、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を知らなかったから
3．就労しているが、近くにバンビーホーム（放課後児童クラブ）がないから
4．就労しているが、バンビーホーム（放課後児童クラブ）に空きがないから
5．就労しているが、バンビーホーム（放課後児童クラブ）の開所時間が短いから
6．就労しているが、利用料がかかるから
7．就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8．就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9．就労しているが、他の施設に預けているから
10．その他（　　）

問 17－３　問 17 で「２．利用していない」に○をつけた方におうかがいします。

あて名のお子さんについて、今後、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1．利用したい　→　週（　　）日くらい、うち土・日の利用希望（1．ある　　2．ない）
2．今後も利用しない

放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 18　あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

１．自宅	週（　　）日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
４．児童館 ※１	週（　　）日くらい
５．放課後子ども教室 ※２	週（　　）日くらい
６．バンビーホーム（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい → 下校時から（　　）時まで
７．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※１　児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「６．」に回答

※２　「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 19　あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

１．自宅	週（　　）日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
４．児童館	週（　　）日くらい
５．放課後子ども教室	週（　　）日くらい
６．バンビーホーム（放課後児童クラブ）	週（　　）日くらい → 下校時から（　　）時まで
７．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※　児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「６．」に回答

問 20　<u>問 18 または問 19 で「６．バンビーホーム」に○をつけた方にうかがいます。</u>

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、バンビーホームの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（　　）内に（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（１）土曜日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	（　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

（２）日曜・祝日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

問 21　あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のバンビーホームの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（　　）内に（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

問 22　<u>問 18 または問 19 で「６．バンビーホーム」に○をつけた方にうかがいます。</u>
今後バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号１つだけに○をつけてください。

１．現在就労している	２．就労予定がある／求職中である
３．そのうち就労したいと考えている	４．家族・親族などを介護しなければならない
５．病気や障がいをもっている	６．学生である／就学したい
７．就労していないが、子どもの教育などのために預けたい	
８．その他（　　）	

問 23　地域によっては、バンビーホーム（放課後児童クラブ）と連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号１つだけに○をつけ、意向がある方は、希望する日数を（　　）内に数字でご記入ください。。

１．意向がある　→　週（　　）日くらい	２．意向がない
３．対象のサービスがない	

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 24　この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

１．あった　---▶【問 24－１へ】	２．なかった ---▶【問 25 へ】

問 24－１　この１年間の、お子さんが病気やケガで休んだり、バンビーホーム（放課後児童クラブ）などの預かりサービスが利用できなかった場合に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）。

１年間の対処方法	日数
１．父親が休んだ	（　　）日
２．母親が休んだ	（　　）日
３．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	（　　）日
４．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	（　　）日
５．病児・病後児の保育を利用した	（　　）日
６．ベビーシッターを利用した	（　　）日
７．ファミリー・サポート・センターを利用した	（　　）日
８．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日
９．その他（　　）	（　　）日

【問 24-5 へ】

問 24－２　問 24－１で「１.」「２.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についても（　　）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒（　　）日 ---▶【問 24－３へ】
２．利用したいとは思わない ----▶【問 24－４へ】

問 24－３　問 24－２で「１.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．他の施設で子どもを保育する事業
２．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
３．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）----▶【問 25 へ】

問 24－４　問 24－２で「２．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．病児・病後児を他人にみてもらうのは不安　　２．質に不安がある
３．利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
４．利用料がかかる・高い　　５．利用料がわからない
６．親が仕事を休んで対応する　　７．その他（　　）----▶【問 25 へ】

問 24－５　問 24－１で「３.」から「９.」のいずれかに回答した方にうかがいます。
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「３.」から「９.」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数についても数字でご記入ください。

１．できれば仕事を休んでみたい ⇒（　　）日 ---▶【問 25 へ】
２．休んでみることは非常に難しい ---▶【問 24－６へ】

問 24－６　問 24－５で「２．休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの看護を理由に休みがとれない	２．自営業なので休めない
３．休暇日数が足りないので休めない	４．その他（　　）

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 25　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①保健センターの情報・相談サービス	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
②家庭教育に関する講座・講演会	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
③教育相談センター・教育相談室	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
④児童館	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
⑤子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
⑥市が発信している子育て支援情報	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
⑦子ども発達センター	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ
⑧ファミリー・サポート・センター	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ	１．はい	２．いいえ

あて名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 26　あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も（　　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
１．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	（　　）日
２．夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（　　）日
３．ベビーシッター	（　　）日
４．その他（　　）	（　　）日
５．利用していない	

問 26－１　問 26 で「５．利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない	２．利用したいサービスが地域にない
３．質に不安がある	４．利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．利用料がかかる・高い	６．利用料がわからない
７．自分が利用できるかどうかわからない	８．サービスの利用方法（手続き等）がわからない
９．その他（　　）	

問 27　あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（　　）内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．利用したい		計（　　）日
【問 27－１へ】	１　私用（買物）、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的	（　　）日
	２　冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（　　）日
	３　不定期の就労	（　　）日
	４　その他（　　）	（　　）日
２．利用する必要はない　---▶　【問 28 へ】		

問 27－１　問 27 で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 27 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
２．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
３．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）

問 28　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
１．あった	１　（同居者を含む）親族・知人にみてもらった　-----▶【問 28－１へ】	（　　）泊
	２　短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（　　）泊
	３　２以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊
	４　仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊
	５　仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊
	６　その他（　　）	（　　）泊
２．なかった		

問 28－１　問 28 で「１．あった　１（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．非常に困難　　２．どちらかというと困難　　３．特に困難ではない

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 29　あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけ、該当する（　　）内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
１．働いていなかった	１．働いていなかった
２．取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）日	２．取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）日
３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった　　２．仕事が忙しかった
３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった　　４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった　　６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育園などに預けることができた　　８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取得できることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
15．その他（　　）

問 29－１　子どもが原則１歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた　　２．育児休業給付のみ知っていた
３．保険料免除のみ知っていた　　４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 29－２　<u>問 29 で「２.取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。</u>
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．育児休業取得後、職場に復帰した　　２．現在も育児休業中である
３．育児休業中に離職した

（２）父親

１．育児休業取得後、職場に復帰した	２．現在も育児休業中である
３．育児休業中に離職した	

問 29－３　問 29－２で「１.育児休業取得後、職場に復帰した」に〇をつけた方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに〇をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「１.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「１.」を選択してください。

（１）母親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

（２）父親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

問 29－４　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

（１）母親

実際の取得期間（　　）歳（　　）ヶ月	希望（　　）歳（　　）ヶ月

（２）父親

実際の取得期間（　　）歳（　　）ヶ月	希望（　　）歳（　　）ヶ月

問 29－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（　　）内に数字でご記入ください。

（１）母親

（　　）歳（　　）ヶ月

（２）父親

（　　）歳（　　）ヶ月

問 29－６　問 29－４で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（１）「希望」より早く復帰した方　※当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

①母親

１．希望する保育園に入るため	２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった	４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）	

②父親

１．希望する保育園に入るため	２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった	４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）	

（２）「希望」より遅く復帰した方　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育園に入れなかったため	２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため	４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため	
６．その他（　　）	

②父親

１．希望する保育園に入れなかったため	２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため	４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため	
６．その他（　　）	

問 29－７　問 29－２で「１. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（１）母親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

（２）父親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 29－８　問 29－７で「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（１）母親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

（２）父親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

すべての方に、子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問 30　奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が低い ←→ 満足度が高い				
１	２	３	４	５

問 31　子育てに関する情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．親族（親、きょうだいなど）	２．隣近所の人、知人、友人
３．学校	４．市役所や市の機関
５．市の広報やパンフレット	６．テレビ、ラジオ、新聞
７．子育て雑誌・育児書	８．インターネット
９．コミュニティー誌	10．その他（　　）
11．情報の入手先がない	12．情報の入手手段がわからない

問 32　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．病気や発育・発達に関すること	２．食事や栄養に関すること
３．育児の方法がよくわからないこと	４．子どもとの接し方に自信が持てないこと
５．子どもとの時間を十分にとれないこと	６．話し相手や相談相手がいないこと
７．仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	８．子どもの教育に関すること
９．友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	10．不登校などの問題について
11．子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	
12．配偶者・パートナーと意見が合わないこと	
13．自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	
14．配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	
15．子どもを叱りすぎているような気がすること	
16．子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	
17．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	
18．その他（　　）	
19．特にない	

問 33　子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していらっしゃいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．配偶者・パートナー	2．その他の親族（親・きょうだいなど）
3．隣近所の人、地域の知人、友人	4．職場の人
5．学校の保護者の仲間	6．子育てサポーター
7．学校の先生	8．医師・保健師・看護師・栄養士など
9．家庭児童相談室（子育て相談課）	
10．地域子育て支援拠点（ひろばやセンター等）のスタッフやボランティアの人	
11．母子相談員	12．民生・児童委員、主任児童委員
13．教育相談室	14．保健センター
15．保健所	16．中央こども家庭相談センター（児童相談所）
17．民間の電話相談	18．インターネットを利用したコミュニケ-ション
19．相談相手がいない	20．その他（　　）
21．相談すべきことがない	

問 34　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。
また、サポートを受けたことがある方は、実際にうけたサポートで良かったことや、サポートを受けてどうなったか（解決につながった、など）についてもご記入ください。

問 35　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。